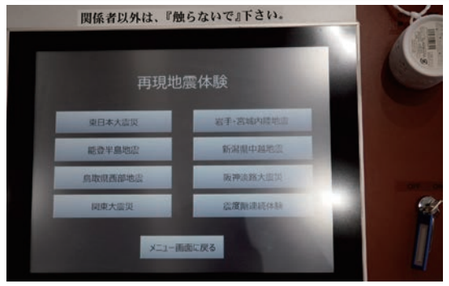
能美市防災センター（寺井町）

災害の疑似体験ができる５コーナーがあるのだ。

自分の身を守る方法や災害のそなえが学べるわ。

1F



タッチパネル
８つの再現された地震から体験を選べる。
スタッフがそうさする。

ここに注目！

地震体験コーナー
過去にあった地震のゆれ方は、どれも違う。再現したゆれを体験して、地震のこわさを知るだろう。

ここに注目！

防災センター
能美市の中央の位置に建つ。大規模な災害があっても強い建物だ。消防車・救急車も並び、指令センターもある。

能美市防災センター

3F

ここに注目！

煙ひなん体験
火災発生。けむりで前が見えない。どうする？

ここに注目！

初期消火体験
一人１台の消火器を使って、スクリーンの火元へ放射し、消火する。

ここに注目！

強風体験
ゴーグルをつけて風速10m→20m→30mを体験。風のこわさを実感するだろう。

ここに注目！

通信体験
119番通報を体験。火災・事故・急病あわてずに正しくつたえることができるかな。いざという時に役立つだろう。

ここに注目！

昭和９年手取川大水害の展示
昭和９年７月11日。手取川の大水害があった。多数の死者・行方不明者を出した。身近な災害の歴史を学ぶことができる。

切れた手取川の堤防の復旧のジオラマ

どう命や身を守る？

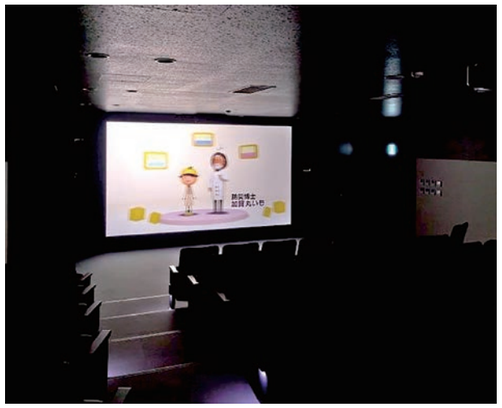
４階に来ました。
ここにはシアターと「展示コーナー」とがあるの。５つのシーンで体験したあと、映像や展示で知って自分の身を守る方法を考えることにしましょうね。

シアターでは、３Ｄメガネをつけて、迫力ある映像を見るのだ。
火災と地震の映像が流れるのだ。こわいかもしれないが、こわさを知ってほしいのだ。自分ができることも学んでほしいのだ。

「わが家の防災対策」のコーナーでは、家でできる工夫や非常持出袋が紹介されているわ。
「あなたならどうする？」防災Ｑ＆Ａのコーナーもあわせて自助の参考になるの。

能美市防災センター

展示コーナー



シアター

能美市防災センターの中田さんの話

能美市防災センターは、市民のみなさんに防災教育と防災の意識を高めてもらうためにつくられました。災害の疑似体験、シアターや展示コーナーで、自分の身を守る方法と災害に備えることの大切さを学んでください。

防災センターは、「災害に強い」建物です。地震などに強くて、多くの機能を備えています。ふだんは、教育施設ですが、もしも災害が起こったら、災害時に必要な様々な活動の中心になることができるようにつくられているのです。

データ

能美市防災センター

電　　話	0761-58-6600
ＦＡＸ	0761-58-6611
住　　所	能美市寺井町ク9番地1
開館時間	9：00～17：00
体験施設	9：30～16：30
休 館 日	毎週月曜日
入 館 料	無料

水害は忘れたころにやってくる

八丁川のはんらん（牛島町付近）

昭和９年の大水害（手取川鉄橋）

水害の記憶

令和４年８月４日　能美市・小松市を中心とした大雨があったわ。梯川水系の７つの川の堤防が切れたり、川の水が堤防を越えたりして、はんらんしたの。

能美市内では、あちこちで家や道路や田畑が水につかったり、がけがくずれたりして、大変な被害があったのだ。
今まで、わが町は、水害のないところと安心していたのに。

大きな水害は、昭和９年７月11日に手取川であったの。たくさん死者が出たの。
「展示コーナー」では、手取川大洪水の様子がくわしく説明されているわ。過去から学ぶことが多いと思うの。

「展示コーナー」を中心に自助・共助・公助の３つの視点で、防災について調べることができるのだ。みんなで自分の命を守り、災害に強いまちをつくっていこう。

調べてみよう

・能美市では、過去にどのような自然災害が起こったか調べてみよう。
・地域によって水害や土砂くずれが起きやすいわけを調べてみよう。
・災害に対して、自分の命を守るために、どんな備えが必要か調べ、話し合いましょう。

SDGsへの取り組み

11 住み続けられるまちづくりを